

I 研究の概要

1 研究主題

自分の考えを持ち、進んで表現する子どもの育成
————— 一人一人を大切にした算数的活動の工夫を通して —————

2 主題設定の理由

(1) 教育の今日的課題から

我が国の子ども達の学力の状況については、その低下が懸念されてきており、国際的な学力調査によると、思考力・判断力・表現力を必要とする問題に課題があることが指摘されている。全国学力・学習状況調査等においても、基礎的・基本的な知識・技能においては概ね身につけているものの、知識・技能を活用する分野には課題があることが明らかになっている。ここにおいても、知識・技能を活用するための思考力や表現力が要求されている。

平成23年4月より完全実施となった小学校学習指導要領では、これまでの「生きる力」を育成するという理念を継承するとともに、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させ、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等を育成することが特に重視されている。

算数科においても、算数的活動を通して考えたことを表現したり、進んで活用したりする態度の育成（言語活動の充実）が求められている。すなわち子どもが基礎的・基本的な知識や技能、考え方を生かし、筋道を立てて問題解決しながら、新しい処理の仕方や考え方を生み出す一連の過程において、積極的に自己の考えを表現する力を育てていくことが重要になると考える。

このような状況を踏まえ、本校では昨年の研究成果を生かしながら学習過程において一人一人を大切にした算数的活動を工夫し、児童一人一人が自分の考えを持ち、進んで表現できる子どもの育成を目指して教育活動を行っていくことにした。

(2) 本校の教育目標から

学校教育目標

郷土を愛し、夢や希望を抱き、元気に学び合う児童の育成
————— やさしく かしこく たくましく —————
(郷土に誇りと愛着を持ち、学ぶことや働くことの意味や楽しさが分かり、
将来の生き方について考えられる児童)

【めざす児童像】

- ・やさしい中川っ子
- ・かしこい中川っ子
- ・たくましい中川っ子

子ども達がたくましく生き抜くためには、自ら考え、主体的に判断して問題を解決していく確かな学力が必要である。そのためには、子ども一人一人が課題に向かって興味関心をふくらませながら、自ら学び、自ら考え表現する力の育成が重要であると考えます。

この教育目標の具現化を図るために、一人一人を大切にした算数的活動を取り入れた教育活動の実践を通して、自分の夢やめあてに向かって元気に学び合い、確かな学力を身につけた児童の育成を願って、本主題を設定した。

(3) 児童の実態から

本校は、児童数68名、7学級（各学年単学級）の小規模校である。学区は山あい田園の広がる自然が豊かな地域である。家庭は、祖父母と同居、あるいは近くに住んでいる児童が多く、大人に囲まれて大事に育てられている児童が多い。明るく素直で礼儀正しい児童が多いが、受動的で積極性に欠ける傾向もある。

本校の児童は、決められた課題に対しては熱心に取り組むことができる。しかし、消極的で教師の指示を待って学習に取り組んだり、自分の考えを表現したりすることが苦手な児童も少なくない。

今年度は算数の研究2年目である。昨年は、学習過程の中に適切な算数的活動を取り入れた指導の工夫を通して、課題解決への道筋をたてながら自分の考えを書いたり説明したりして表現する児童を育てる実践を行ってきた。その結果、学習意欲が少しずつ向上しており、苦手意識をもつ児童もわずかながら減少してきている。また授業実践においては、「導入過程」で、本時の課題と既習事項との関連を考えさせ、前時との違いを明確にとらえさせたことにより課題に対して自分の考えが持てるようになってきた。「自力解決」の過程では、ヒントカードによる支援や自力解決の時間の確保により、自分の考えを図や式、言葉等でノートに書くことができる児童も増えてきている。しかし、多様な視点からねばり強く考えることや自分の考えを筋道立てて表現していくことはまだ不十分である。また、「自力解決」の過程では、学力差を考えた活動や支援が必要であることもわかった。

そこで今年度は、児童一人一人を大切に算数的活動の工夫を通して、一人一人にできた喜びを十分に味わわせたい。そのためにも実態に即した反復練習を継続して行い、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図りたい。そして、互いに自分の考えを表現し、伝え合う活動を取り入れた指導を充実させ「数学的な考え方」を高めていきたいと考え、本主題を設定した。

3 研究の目標

筋道を立てて考え、進んで表現する児童を育てるための個に応じた学習指導のあり方を実践を通して明らかにする。

4 研究の仮説

学習過程の中に個に応じた適切な算数的活動を取り入れれば、児童は課題解決への道筋をたてながら考え、表現する力が高まるだろう。

算数的活動とは、

(学習指導要領より)

児童が目的意識をもって主体的に取り組む算数にかかわりのある様々な活動。

- 算数的活動の目的
- ①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につける。
 - ②思考力・判断力・表現力などを高める。
 - ③算数を学ぶことの楽しさや意義を実感する。

- 分類
- ・具体物を用いて数量や図形についての意味を理解する活動
 - ・知識・技能を実際の場面で活用する活動
 - ・問題解決の方法を考え、説明する活動

本校の考える適切な算数的活動例としては、

導入過程・・・・・・解決への意欲と見通しが持てるような活動の工夫

- ・素材の工夫（生活体験・発展的に考えられる・驚きや感動・具体物の提示など）③
- ・既習の学習（ノート・掲示物など）①

自力解決の過程・・・言葉や数，式，図，グラフ，表などを用いて自分なりに考える活動の工夫

- ・具体物の操作（模型，カードなど）→半具体物（ブロック，おはじきなど）へ ②③
- ・ノートの工夫（自分の考えのまとめ方，使い方など）②
- ・振り返りのできる工夫（ノート，掲示物など）①②

比較検討の過程・・・自分の考えを分かりやすく表現したり，友達と考えを交流したりしながら，考えを深めあう活動の工夫

- ・基本的な話し方・聞き方（算数用語を使った説明の仕方・ルールの提示など）①③
- ・表現の場の工夫（ペア・グループ・集団など）②
- ・発表の場の工夫（ノート・ワークシート・発表ボード・教育機器の活用など）②

まとめの過程・・・学習のねらいに沿ったまとめや学習内容の定着を図れるような活動の工夫

- ・板書の工夫（振り返りができるように）①
- ・まとめ方の工夫（キーワード方式・全員で→自分で）①③
- ・毎時間後に学習を振り返って感想を書く。など ③

※ ① ② ③は，算数的活動の目的を表す。

個に応じた適切な算数的活動の具体的な取り組みの例としては、

- ヒントカードの活用・・・個に応じた対応，数種類のヒントカード
- 吹き出しの活用・・・自分の考えをまとめていく。学習の流れを整理する。
- 発表形態・方法の工夫・・・話し方カード，聞き方カードの利用
低学年→型の利用（穴抜きの文）
- 習熟度別のコースに分かれた取り組み
- 個に応じた教材・教具の工夫
- できる子への手立て・・・練習問題，発表準備など

めざす児童像

低 学 年	具体物を用いた活動を通して，自分の考えを言葉，数，式，図などを使って順序よく書いたり話したりすることができる児童
中 学 年	具体物や絵や図，言葉や式などを用いて自分の考えを持ち，分かりやすく説明したり友達の考えを自分の意見と比較して聞いたりできる児童
高 学 年	絵や図，言葉や式などを用いて筋道立てて考え，友達の考えと比較しながら自分の考えを確かめたり，修正したりできる児童

日常活動の取り組み

ア 基礎学力向上の取り組み

- ・ドリルタイム（朝自習）

イ 家庭学習の定着を図る取り組み

- ・家庭学習の手引きの活用
- ・自学ノートの展示

ウ 教室掲示の充実

- ・算数コーナーの設置
- ・既習事項の掲示
- ・話し方・聞き方カードの掲示

5 研究の内容と方法

(1) 内容

- ・文献などにより，算数的活動などについての理解を深める。
- ・目指す児童像を明確化し，効果的な算数的活動のあり方をさぐる。
- ・仮説検証のための授業研究をする。

(2) 方法

○全体研修

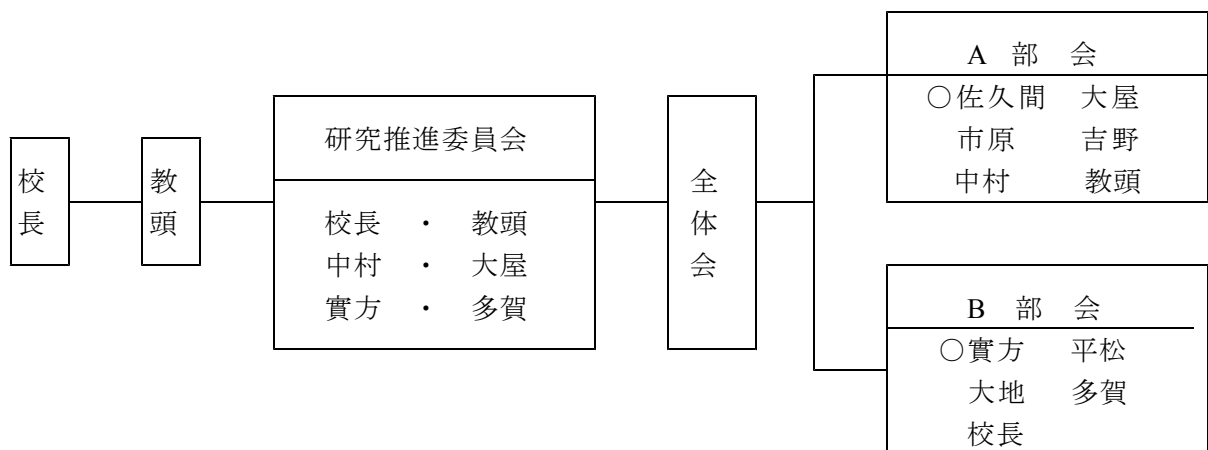
- ・研究主題や仮説，研究内容等についての共通理解を図る。
- ・授業研究の指導案検討や授業後の討議を行う。

○部会研究（A部会・B部会）

- ・仮説に沿った教材研究，指導案の検討などをする。
- ・講師を招聘して一人一授業研究を行い，指導を受ける。
- ・市内各小学校や先進校の参観をする。

6 研究組織 及び 運営

(1) 研究組織



※ブロック研修（低・高ブロック
低・中・高ブロック）状況に合わせて実施

(2) 運営

- ・研修日は、毎週木曜日午後3時00分からとする。
- ・全体会の司会は教務主任があたり、研究主任及び研究副主任は内容について提案する。
- ・全体会の記録は、1年～6年～コスモスの順で行う。
- ・研修内容によっては、学年ブロックを解体したグループ編成をして効果的に研修を進める。
- ・実技研修については、教科等の担当者が計画を立てて実施する。

7 研修計画

月	日	曜	形態	内 容	*一般研修	備 考
4	9	木	個人研修	教室環境整備		8 入学式
	23	木	推進委員会	今年度の研究の方向性 及び		14 交通安全教室
	30		全体会	研究主題, 研究仮説の検討・決定 今年度の研究について		20 避難訓練 21 学力学習状況調査 28 全校遠足
5	7	木	部会	検証授業の計画 授業者の決定		7 避難訓練(火災)
	14	木	部会	運動会予行反省会 及び 準備		16 運動会
	28	木	一般研修	*心肺蘇生法 アンケート調査について 項目検討		22 学校公開 24 陸上大会 25 防犯教室
6	4	木	全体会・部会	具体的な算数的活動の取り組みについて 指導案作成 文献研究 教材研究など		8 緊急地震速報対応訓練 16 プール開き JRC 登録式
	11	木	部会	指導案検討		
	18	木	全体会	指導案検討		
	29	月	全体会	第1回校内授業研究(1年, 4年)		
7	2	木	個人	道徳授業参観準備		3 道徳授業参観
	9	木	個人	文献研究 教材研究		16 引き渡し訓練 23・24 キャンプ
		木	全体会	*図工研修		
8			全体会	職員作業による環境整備		
			一般研修	*人権教育・特別支援教育・図工研修など		
			部会	2学期の検証授業に向けての指導案作成・検討		
			全体会	算数学習学級掲示物の作成 *教育研究集会参加		
9	3	木	部会	指導案作成・検討		1 始業式
	10	木	部会	指導案検討	*図工研修(日)	2 避難訓練(地震)
	16	水	全体会	指導案検討		
	25	金	全体会	第2回校内授業研究(2年, 5年)		
10	1	木	個人	指導室訪問指導案作成 教材研究など		7 ミニバス大会
	8	木	個人	指導案作成・資料作成 など		20 避難訓練(地震)
	15	木	個人	指導室訪問授業準備など *図工研修(日)		22 指導室訪問 28 サッカー大会
	22	木		指導室訪問		
	29	木	部会	指導案作成・検討		
11	5	木	部会	指導案検討		5・6 修学旅行
	12	木	部会	指導案検討・資料作成 など		11 郡市音楽発表会
	19	木	全体会	指導案検討		14 ふれあい音楽会

				*書写研修(日) *いすみ市教育講演会	27 マラソン大会
	2 6	木	全体会	第3回校内授業研究(3年, 6年)	
1 2	3	木	全体会	第4回校内授業研究(コスモス学級)	16 高齢者ふれあい学級
	1 0	木	個人	2学期の研修のまとめ・アンケート配布	
	1 7	木		・アンケート提出	
1	7	木	推進委員会	研究のまとめについて	7 始業式
	1 4	木	全体会	研究のまとめについて	13 避難訓練(火災)
	2 1	木	個人	研究のまとめ原稿作成	20 避難訓練(地震)
	2 8	木	個人	研究のまとめ原稿作成	29 なわとび集会 租税教室
2	4	木	個人	研究のまとめ原稿作成	24・25 学力検査
	1 0	水	部会・全体会	原稿読み合わせ 全体を通した成果と課題	
	1 8	木	全体会	紀要のまとめ印刷・製本	
	2 5	木	個人	学力検査の結果処理	
3	3	木	全体会	今年度のまとめ 来年度の研修の方向について検討	4 6年生を送る会 18 卒業式